



平成21年5月8日

各 位

会 社 名 株式会社マツモトキヨシホールディングス
 コード番号 3088 東証第1部
 代表者名 代表取締役社長兼 COO 吉田 雅司
 問合せ先 執行役員 財務経理部長 小松 栄二
 TEL 047-344-5110

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、単体については平成20年5月16日の前期決算短信発表時に公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の個別業績予想を、連結については平成21年2月13日の第3四半期決算発表時に公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成21年3月期の個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

【単体】

(金額の単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	200,000	8,600	9,000	8,700	177円39銭
今回修正予想 (B)	204,944	734	10,164	9,435	197円04銭
増減額 (B-A)	+4,944	△7,865	+1,164	+735	—
増減率 (%)	+2.5%	△91.5%	+12.9%	+8.5%	—

【修正理由(単体)】

当社(単体)は、平成20年5月16日開催の取締役会にて株式会社マツモトキヨシの仕入れ事業を当社に会社分割により移管する決議を行い、平成20年6月27日開催の当社株主総会での本移管に伴う定款変更の承認を得た上で、平成20年7月1日より仕入れ事業を行い、グループ各社に販売しております。このことにより、純粋持株会社から事業持株会社になりました。これに伴い、関係会社からの受取配当金について、当初、営業収益での計上を想定していたものが、営業外収益にて計上することとなり、営業利益が前回予想数値に対して変更の必要が生じました。営業収益については前回予想数値に対し、この受取配当金に関わる営業収益が減少したものの、関係会社への商品売上高等が増加したことにより、総額で上回ることとなりました。

また、その他営業収入が前回予想に対して増加したこと等から、経常利益、当期純利益も前回予想数値を上回ることとなりました。

当単体の業績予想の修正が平成21年3月期の連結業績に与える影響は軽微であります。

2. 通期の連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	403,000	16,000	17,200	7,800	159円04銭
今回修正予想 (B)	392,268	16,324	17,989	7,728	161円50銭
増減額 (B-A)	△10,731	+324	+789	△71	—
増減率 (%)	△2.7%	+2.0%	+4.6%	△0.9%	—

【修正理由(連結)】

当連結会計年度においては、新規出店についてその採算性確保をより慎重に行った結果、予想出店数を下回ることとなり、また一方で今後の成長に向け、不採算店の閉鎖を行ってきました。このことにより売上高は前回予想数値を下回ることとなりました。

売上総利益は、特定検診の導入により引き続き関心度の高い生活習慣病関連の漢方薬やバランス栄養食関連などの展開を強化すると共に、新商品の拡販による生活改善薬の大幅な伸長／顧客支持の高いカウンセリング型化粧品の商品構成比拡大などにより改善し、更に、広告宣伝費の抑制、ロイヤルカスタマー醸成に向けた販促施策への変更等により販売費及び一般管理費の削減に努めてまいりました。その結果、営業利益、経常利益は前回予想数値を上回ることとなりました。

その一方で特別損失の増加により、当期純利益は前回予想数値を若干下回ることとなりました。